

身延町 令和7～8年度

風しん

助成は生涯で
この機会のみです

予防接種の費用助成のおしらせ

- 身延町では、次のとおり風しんの予防接種費用の一部を助成します。
なお、この予防接種は任意です。

■ 助成の対象となる方

次の ① ② ③ すべてに当てはまる方

- ① 1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の方。
- ② 2025(令和7)年3月末までに「風しん」の抗体検査を受けた結果、血液中の風しんウイルスに対する抗体の量(抗体価)が不十分であるとされた方。
- ③ 抗体価が不十分であるとあるとされて以降、「風しん」の予防接種を受けていない方。

■ 接種助成期間

令和7年4月1日～令和9年3月31日

■ 接種費用の個人負担

- ◆ 接種費用から、公費助成額を差し引いた額を医療機関の窓口でお支払いください。
 - 公費助成額10,340円を1回助成
- ◆ 生活保護を受給されている方は、全額公費助成となります。
- ◆ 接種費用の個人負担額は、医療機関ごとに異なります。あらかじめご確認ください。
- ◆ 対象となる方への接種費用の助成は、接種助成期間中のみです。



次の場合は、接種費用の助成はありません

1. 接種日に身延町が発行した接種券を持参せずに接種した場合
2. 接種日に身延町に住民票がない方が、身延町が発行した接種券を使用して接種した場合
3. 接種券に記載の接種券有効期間外に接種した場合

■ 知ってください「風しん」のこと

◆ 強い感染力をもつ風しんウイルス

- 風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症です。風しんの免疫のない集団においては、1人の風しん患者から5～7人が感染する強い感染力があります。感染経路は、飛沫により感染します。
- 風しんの予防には、予防接種が最も有効であるといわれています。

◆ 風しんウイルスに感染した場合の症状や影響

- 感染すると、約2～3週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。
- 子どもが感染した場合、比較的症状が軽いとされていますが2,000～5,000人に1人くらいの割合で脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が発生することがあります。
- 大人が感染した場合、発熱や発疹の期間が子どもに比べ長く、関節痛を認めるなど、重症化することがあります。また、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が感染すると、眼や心臓、耳等に障害を持つ(先天性風しん症候群)子どもが出生することがあります。(妊娠1か月で感染した場合50%以上、妊娠2か月で感染した場合35%などとされています)妊娠中の女性は、風しんの予防接種を受けられません。このため、「風しん」に感染しないよう妊娠中の女性の方はもちろん、ご家族など周りの方も感染予防に努めてください。

■ 予防接種をご希望の方の手順



■ 予防接種が可能な身延町内の医療機関

医療機関	所在地	電話番号
飯富病院	飯富1628番地	0556-42-2322
身延町営診療所	下部、古閑、久那土、大須成、曙	0556-42-2322(飯富病院)
身延山病院	梅平2483番地167	0556-62-1061
しもべ病院	下部1063番地	0556-36-1111
高橋医院	梅平2408番地	0556-62-0143

上記のほか県内医療機関では概ね接種が可能となる見込みです。あらかじめ接種が可能か直接お問い合わせください。